N E C

Express5800シリーズ ESMPRO[®]/AC Advance Ver4.1

UL1046-306

セットアップカード

このたびは ESMPRO/AC Advance Ver4.1をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項 を中心に構成されています。 ESMPRO/AC Advance Ver4.1をお使いになる前に、必ずお 読みください。

Windows®、Windows Server® 2008 R2、Windows Server® 2008、Windows® 7、Windows Vista®、 Windows Server® 2003 R2、Windows Server® 2003、Windows® XP、Windows® 2000 は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 ESMPRO[®]は日本電気株式会社の登録商標です。 目次

第1章製品	榕	4
第2章セット	トアップの準備	5
2.1 ES	SMPRO/AC Advanceのセットアップ環境	5
2.2 ES	SMPRO/AC Advanceの構成例	7
第3章セット	トアップの方法	8
3.1 ES	SMPRO/AC Advanceのインストール	
3.2 ES	SMPRO/AC Advanceのアンインストール	
第4章AMC機	館	
4.1 AV	NC機能を使用するためのセットアップ	
4.2 マ	7ルチサーノ構成の運用例	
第5章 スケジ	ジュール運転の設定	
5.1 制	御端末のスケジュール設定	
5.2 連	動端末のスケジュール設定	
5. 2. 1	Windows連動端末への直接設定	
5. 2. 2	Windows連動端末へ設定ファイルを送信	
第6章障害死	後生時ごは	41
6.1 マ	7ルチサーノ構成でのログ採取方法	
第7章注意	軻	46
7.1 セ	<i>ヱ</i> ットアップ関連	
7.2 運	町時における注意	

第1章 製品内容

ESMPRO/AC Advance Ver4.1のパッケージの内容は、次の通りです。 まず、添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

- ソフトウェアライセンスキー
 1部
- ・ ソフトウェアのご使用条件 1部
- ・ ESMPRO/AC Advance Ver4.1 について 1部

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Advance は ESMPRO/AutomaticRunningController のオプション製品です。ESMPRO/AC Advance Ver4.1 をご使用になるためには、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.1 も併せ てセットアップが必要です。

2.1 ESMPRO/AC Advance のセットアップ環境

ESMPRO/AC Advanceをセットアップするためには、次の環境が必要です。

① ハードウェア

<サーバ>	
• 対象機種	: Express5800シリーズ
・メモリ	: 2.5MB以上
	ESMPRO/AutomaticRunningController
	と合計すると 5.0MB以上
・固定ディスクの空き容量	: 4.0MB以上
	ESMPRO/AutomaticRunningController
	と合計すると 10.0MB以上
・HW/BIOS機能(*)	: 制御端末のリモート起動、リモートシャットダ
	ウンを利用する場合は、WOL(WakeOnLAN)機能を
	実装しているサーバOSのシャットダウンで、
	電源0FFが可能なサーバ

(*) サーバ本体HWが提供する機能を利用するため、機種によっては機能が提供 されていない場合があります。 これらの機種は、リモート起動を含め、自動運転の起動機能は実現できま せん。また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサー バの電源がOFFされないサーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に 電源がOFFできません。 この場合には、その後の自動起動も出来ません。 これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存する為、導入の際には、 予め使用するサーバ本体HWおよびOSを確認してください。 (同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合もあります。)

<クライアント>

- 対象機種 :PC98-NXシリーズ、PC-AT互換機、Express5800シリーズ
- ・メモリ:2.5MB以上
- ・固定ディスクの空き容量 :6.5MB以上

② ソフトウェア

<サーバ>

Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional

Windows XP Professional

Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server

Windows Vista Business

Windows Server 2008 Standard Edition/Enterprise Edition

Windows 7 Professional

Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

<クライアント>

Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional
Windows XP Professional/Home Edition
Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server
Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server
Windows Vista Business
Windows Server 2008 Standard Edition/Enterprise Edition
Windows 7 Professional
Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

* AMC (AC Management Console)機能によりマルチサーバ構成で制御される連動 端末 (非制御端末) には、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがセッ トアップされている必要があります。

最新の動作環境については、下記サイトでご確認ください。 ESMPRO/AutomaticRunningController (http://www.nec.co.jp/esmpro_ac/)

2.2 ESMPRO/AC Advanceの構成例



第3章 セットアップの方法

3.1 ESMPRO/AC Advance のインストール

- AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベル に『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 1.1』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブ にセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

🇞 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	セットアップ	×
「動作を選択」 ● インストール	C 72	インストール
レーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	チェックをつけてくだる	
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
 ○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済〈インストールさ ×…未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 	れているバージョンを	5併記)
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.1	Q(4.1)
ESMPRO/AC Enterprise	4.1	×
ESMPRO/AC Advance	4.1	×
□ ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.1	×
■ESMPRO/AC MSCSオブション	4.1	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	4.0	×
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	4.0	×
ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション	4.0	×
実行		終了

- (3) 「ESMPRO/AC Advance」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があり ます。
 - ◆ ESMPRO/AC Advanceのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオボ タンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Advanceを選択し、チェックを有効にします。

ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品 動作を選択	セットアップ	×
◎ インストール	07	シインストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくか	ざさい。
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済〈インストールさ ×…未インストール	れているバージョン	を併記)
サーバ系製品群クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.1	○(4.1)
ESMPRO/AC Enterprise	4.1	×
✓ESMPRO/AC Advance	4.1	×
LIESMPRO/ACBlade 管理オブジョン	4.1	×
□ESMPRO/AC MSCSオブション	4.1	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	4.0	×
□ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	4.0	×
□ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション	4.0	×
		終了

◆ ESMPRO/AC Advanceのクライアント系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラ ジオボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中から ESMPRO/AC Advance を選択し、チェックを有効にします。

🛞 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×
動作を選択	C 7'24	ロストール
インストール/アンインストールを実施する製品を運	観し、チェックをつけてくださ	, 1 ₀
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとさ	おりです。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済(インス ×…未インストール	トールされているバージョンを依	拼記)
サーバ系製品群(クライアント系製品群)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.1	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.1	×
✓ ESMPRO/AC Advance	4.1	×
ESMPRO/ACBiade 管理オプション	4.1	× (
		終了

- (4) 「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	×
以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか? <サーバ系製品> ESMPRO/AC Advance Ver4.1	
(はい(Y) いいえ(N)	

(6) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC関連製	品セットアップ			X
次の製品のソフトウェア てください。	ライセンスキー(ご言	記載されているラ	ィセンスキーを入力し	,
ESMPRO/AC Advan	ce Ver4.1			
	-	_		
ОК			キャンセル	

- (7) ファイルの転送が開始されます。
- (8) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

ESMPRO/AC Advance セットアッフ*	
	InstallShield Wizard の完了 セットアップは、コンピュータへのESMPRO/AC Advanceのインストールを完了しま した。フロゲラムを使用する前に、コンピュータを再起動してください。
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advance のインストール済欄に○およびバージョンが表示され ていることを確認します。

<サーバ系製品インストール後の画面>

◎ インストール	C アン・	インストール
・ ・ール/アンインストールを実施する製品を	選択し、チェックをつけてくださ	il, 1 ₀
シストール済に表示されている情報は以下のと	とおりです。	
・同じバージョンの製品がインストール済 ・異なるバージョンの製品がインストール済くイン ・未インストール	ストールされているバージョンを	併記〉
「系製品群」クライア、小系製品群」		
「系製品群」クライアント系製品群 製品名	バージョン	インストール済
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic RunningController	バージョン 4.1	インストール済 〇(4.1)
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise	バージョン 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) ×
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance	バージョン 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1)
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オフンヨン	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1) ×
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オフジョン ESMPRO/AC MSCSオブション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1) × × ×
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオコ	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 ジション 4.0	インストール済 O(4.1) × O(4.1) × × × × ×
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブ	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 5ション 4.0 ション 4.0	インストール済 O(4.1) × O(4.1) × × × × × ×

<クライアント系製品インストール後の画面>

🍻 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	品セットアップ	×
- 動作を選択		
◎ インストール	0 724	ロストール
- インストール/アンインストールを実施する製品を選択	沢し、チェックをつけてくださ	, 1 ₀
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお	りです。	
○…同じバージョンの製品がイソストール済 ム…異なるバージョンの製品がイソストール済くイソスト ×…未イソストール	ールされているバージョンを信	并記)
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.1	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.1	×
ESMPRO/AC Advance	4.1	○ (4.1)
LESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.1	X
実行		終了

ESMPRO/AC Advanceクライアントツールの使用方法については、スタートメニューの [ESMPRO_ACL Client]→[マルチサーバ構成データ編集]を起動した後の「ヘルプ」にてご 確認ください。

注意

- ESMPRO/AC Advance Ver4.1 は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.1 がインストール されたサーバ上でのみ動作します。ESMPRO/AC Advance Ver4.1 をインストールする場合は、 ESMPRO/AutomaticRunningController Ver4.1 をインストールするソフトウェアに追加してく ださい。
- ・ 他のオプション製品をインストールする場合は、Setupac.exe からインストール作業を続行し てください。インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。
- バージョンアップセットアップでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認の メッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアッ プは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意 ください。
- Windows ファイアウォール機能が有効な環境において利用する場合、Windows ファイア ウォールの設定画面の[例外]タブの「プログラムの追加」から"AC Management Console"のプ ログラム(amc.exe)を登録してください。

3. 2 ESMPRO/AC Advance $O \mathcal{P} \mathcal{V} \mathcal{A} \mathcal{V} \mathcal{A} \mathcal{V}$

- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータ にログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 1.1』と記載されている CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

 動作を選択 インストール アンイン インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください、 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ヘ…異なるバージョンの製品がインストール済 インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 サーバ系製品群 クライアント系製品群 第四中国の人口のmaticRunningController 4.1 	ノストール 。 記)
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ノストール 。 記)
 ・ イノストール ・ イノストール ・ イノストール ・ レノアンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ ()	/ストール 。 記)
ンストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください あ、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 O…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併調 ×・・・未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 集 製品名 バージョン ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 ESMPRO/Ac Enterprise 4.1	。 i2)
あ、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 O…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併調 ×…未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 編 製品名 パージョン ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 ESMPRO/AC Enterprise 4.1	記)
O…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併調 ×…未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 複 製品名 パージョン ESMPRO/Automatic RunningController 4.1 ESMPRO/AC Enterprise 4.1	記)
△…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているハーションを研 ×…未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 製品名 バージョン □ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 □ESMPRO/AC Enterprise 4.1	2)
サーバ系製品群 クライアント系製品群 製品名 バージョン ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 ESMPRO/AC Enterprise 4.1	
9 - ハ未製品種 レクコアンド未製品種 バージョン 製品名 バージョン ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 ESMPRO/AC Enterprise 4.1	
製品名 バーション ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 ESMPRO/AC Enterprise 4.1	6 -1 -1 -1 -1 -1
ESMPRO/AutomaticRunningController 4.1 ESMPRO/AC Enterprise 4.1	インストール注
ESMPRO/AC Enterprise 4.1	O(4.1)
	×
ESMPRO/AC Advance 4.1	O(4.1)
□ESMPRO/ACBlade 管理オプション 4.1	×
■ESMPRO/AC MSCSオブション 4.1	×
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション 4.0	×
■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション 4.0	×
ESMPRO/ACBlade マルチサーバオブション 4.0	×
実行終	1

- (3) 「ESMPRO/AC Advance」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があります。
 - ◆ ESMPRO/AC Advanceのサーバ系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジ オボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AC Advanceを選択し、チェックを有効にします。

○ インストール	 アン・ 	インストール
・ール/アンインストールを実施する製品を選		 il 10
	5りです。	
 ・同じバージョンの製品がインストール済 ・異なるバージョンの製品がインストール済(インス) ・未インストール 	トールされているバージョンを	併記)
「系製品群」クライアント系製品群」		
「系製品群」 クライアント系製品群 製品名	バージョン	インストール済
「系製品群」 クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController	バージョン 4.1	インストール済 ○(4.1)
「系製品群」クライアント系製品群) 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise	バージョン 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) ×
「系製品群」クライアント系製品群」 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance	バージョン 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1)
「系製品群」クライアント系製品群) 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オプション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1) ×
「系製品群」クライアント系製品群」 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オプション ESMPRO/AC MSCSオプション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1) × × ×
「系製品群」クライアント系製品群」 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オブション ESMPRO/AC MSCSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブ:	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 ンョン 4.0	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1) × × × × ×
「系製品群」クライアント系製品群」 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オプション ESMPRO/AC MSCSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブジ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブジ	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 ンョン 4.0 ョン 4.0	インストール済 〇(4.1) × 〇(4.1) × × × × ×

◆ ESMPRO/AC Advanceのクライアント系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」 のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中 からESMPRO/AC Advanceを選択し、チェックを有効にします。

🎪 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	製品セットアップ	×
_ • • • • 作 宏 诩 択		
○ インストール	© 724	シストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選	択し、チェックをつけてくださ	, ì _o
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとお	5月です。	
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インス ×…未インストール	トールされているバージョンを使	#記)
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.1	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.1	×
ESMPRO/AC Advance	4.1	(4,1)
■ESMPRO/ACBlade 管理オプション	4.1	×
1		
実行		終了

- (4) 「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	×
以下製品のアンインストール処理を行います。 よろしいでしょうか? <サーバ系製品> ESMPRO/AC Advance Ver4.1	
(はい(Y) いいえ(N)	

(6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択しま す。



- (7) ファイルの削除が行われます。
- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advanceのインストール済欄に×が表示されていることを確認 します。

<サーバ系製品のアンインストール後の画面>

○ インストール	● アン	インストール
ー ール/アンインストールを実施する製品を選択し、	. チェックをつけてくださ	il 10
	す。	
同じバージョンの製品が化ストール済ました。	Laboration - 11 - 511 - 5 - 44	
異なるパージョンの製品がインストール済(インストールさ 未インストール	SATCHSバージョンを	(井記)
(系製品群」 クライアント 系制品群)		
「系製品群」クライアント系製品群) 製品名	バージョン	インストール済
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic BunningController	バージョン 41	インストール済 〇(4.1)
「系製品群」クライアント系製品群) 製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise	バージョン 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) ×
※殺品群 クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance	バージョン <mark>4.1</mark> 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × ×
「系製品群」クライアント系製品群 製品名 ESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC Blade 管理オブション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(4.1) × × ×
※系製品群 クライアント系製品群 製品名 SMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance SMPRO/AC Advance SMPRO/AC Blade 管理オブション ESMPRO/AC MSCSオプション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1	インストール済 〇(41) × × × × ×
「系製品群」クライアント系製品群) 製品名 SMPRO/Automatic RunningController SSMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance SMPRO/AC Blade 管理オブション SMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 4.0	インストール済 〇(4.1) × × × × × × ×
「系製品群」クライアント系製品群) 製品名 SMPRO/Automatic RunningController SSMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance SMPRO/AC Blade 管理オブション SSMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	バージョン 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 4.1 4.0 4.0	インストール済 〇(4.1) × × × × × × × × × ×

<クライアント系製品のアンインストール後の画面>

 動作を選択 C インストール インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、ラなお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです O・・・同じバージョンの製品がインストール済 Δ・・・異なるバージョンの製品がインストール済 エ・・・未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群 	• <u>721</u> =	<u>()ストール</u> , \。 f記)
 インストール インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、ラ なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです 〇…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済 エ・未インストール サーバ系製品群 	● アンゴ ==ックをつけてください。 。 いているバージョンを使いたい。	<u>(フストール)</u> , ₁ 。 f記)
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、ラ なお、インストール剤に表示されている情報は以下のとおりです O…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(クストールされ ×…未インストール	-ェックをつけてくださ 。 いているバージョンを使	, ₁₀ 482)
○…同じバージョンの製品がインストール済 Δ…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされ ×…未インストール サーバ系製品群 クライアント系製品群	にているバージョンを使	₩E2)
サーバ系製品群 クライアント系製品群		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	4.1	×
ESMPRO/AC Enterprise	4.1	×
ESMPRO/AC Advance	4.1	×
□ESMPRO/ACBlade 管理オブション	4.1	×
実行		終了

(10) アンインストール後は、Setupac. exe を終了してシステムを再起動してください。

第4章 AMC 機能

ESMPRO/AC Advance では、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされたサー バの統合管理を実現させるため、AMC(AC Management Console)機能を搭載しています。

4.1 AMC 機能を使用するためのセットアップ

[スタート]-[ESMPRO_AutomaticRunningController]から「ESMPRO_AC 環境ウィザード」を起動し、 「環境設定ウィザード」を選択します。



"UPS を使用せずに自動運転を行う"を選択し、「次へ(N)>」ボタンを押します。

環境設定ウィザード STEP3	×
自動運転モード	
UPSを使用せずに自動運転を行う	
	〈 戸ろ(R) (デデー) キャンパクル

「完了」ボタンを選択すると、以下のようなメッセージが表示されます。



「はい(Y)」を選択すると、AMCの起動を確認するダイアログが表示されます。



AMC を起動します。

「編集」メニューから「電源制御グループ作成」を選択し、グループ名を入力します。

AC Mar	nagement Consol	e – ESMPR	O/AC			
ファイル(F)	編集(E) 操作(S)	表示(V) ^	√//プ(H)			
	電源制御グループ	作成				
🔣 net	電源制御グループ 連動装置のグルー	ポリシー登録 ブ追加		IP address	記明	状態
	新規裝置登錄 登録情報編集 登録情報削除					
1		لمغدر				

作成したグループ配下のアイコンをクリックすると、グループポリシーの入力画面が表示されま すので、制御端末が複数台のときは制御端末に届くローカルブロードキャストアドレスを、制御 端末が1台のみのときは ESMPRO/AC Advance をインストールした制御端末の IP address を入力 します。

グループポリシー	×
この電源系統の共通管理情報を登録・編集します 名称 利御端末グループ	ОК ++ури
記印	
通信用認識コード ESMACnet SNMP コミュニティ名 public (15文字主でのユニークなコード)	
通信用 IP address 172.16.1.255 SNMP通信異常確認時間 30	Sec
制御端末に届く 「ローカルブロードキャストアドレス」か、 「制御端末の IP address」(制御が1台の場合のみ) を登録してください	_
統計情報採取間隔 1 分	

次に、ツリー上の「制御端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を選 択します。

🔗 AC Management Console – ESMPRO.	/AC			
ファイル(F) <mark>編集(E)</mark> 操作(S) 表示(V) ヘル	7"(H)			
■ ■ 電源制御グループ作成 電源制御グループポロシー登録				
田田		IP address	説明	状態
登録情報削除				
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_			
				<u> </u>
			N	JM

「制御端末(サーバ)」の入力画面が表示されますので、制御端末(サーバ)の情報を入力します。

制御端末をリモート起動する場合は、Advance option mode のチェックを有効にし、リモート起 動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。 MAC address は、コマンドプロンプトから"ipconfig /all"と入力し、出力結果に表示されてい る Physical Address を入力します。

リモート起動用 MAC address には WOL 機能が有効な LAN ポートの MAC address を入力します。

御端末(サーバ)	X
電源制御を行うサーバを登録します。	(OK キャンセル
名称 120RI-2 (コ) Linu マコンビュータ名を	ンピュータ名:15文字まで。 1xの場合は大/小文字を区別する必要あり) 大文字に自動変換する。(Linuxの場合は無効)
IP address 172.16.1.21	•
説明 AC+AC Advance	🗖 Linux
	🔄 🔲 SNMP Trapを使用しない
	ブラウザ設定
Advance option mode	
リモート起動用 MAC address	00-16-E6-D3-13-57
リモート起動用 IP address	172.16.1.21
リモート起動用 ネットマスク	255.255.255.0

この操作を繰り返すことにより、複数の制御端末(サーバ)を登録することができます。

次に、ツリー上の「連動端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を 選択します。

💦 AC Management Console – ESMPRO.	AC		
ファイル(F) 編集(E) 操作(S) 表示(V) ヘル	ν°(H)		
電源制御グループ作成 電源制御グループ作成			
电線制両クルーフルウシー登録 連動装置のグループ追加	IP addr	ess 】 説明	状態
□			
登録情報編集			
]		
			<u> </u>
			NUM //

「連動端末(サーバ)」の入力画面が表示されますので、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプ ションがインストールされた連動端末(サーバ)の情報を入力します。

Advance option mode のチェックを有効にし、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。連動端末の MAC address は、連動端 末にてコマンドプロンプトから"ipconfig /all"と入力し、出力結果に表示されている Physical Address を入力します。

リモート起動用 MAC address には WOL 機能が有効な LAN ポートの MAC address を入力します。

この操作を繰り返すことにより、複数の連動端末(サーバ)を登録することができます。

動端末(サーバ)	<u>د</u>
制御端末により、電源制御されるサーノ	「を登録します。
サーバ種別 Windowsサーバ	
名称 120RF-1 Lim マコンビュータ名を大文字	ンピュータ名: 15文字まで <u>。</u> uxの場合は大/小文字を区別する必要あり) 리こ自動変換する。(Linuxの場合は無効)
- Fx12	(ドメイン名を登録。例: domain.co.jp)
IP address 172.16.1.16	ネットワーク情報取得
ユーザ名	(対象サーバに接続可能なユ ーザ名、パスワード)
パスワード	サーバへの接続確認
説明 Advanceマルチサーバス	オプション
	ブラウザ設定
Advance option mode	
リモート起動用 MAC address	00-a0-c9-e3-6e-9c
リモート起動用 IP address	172.16.1.16
リモート記動用 ネットマスク	255 255 255 0

4.2 マルチサーバ構成の運用例

AMC では、制御端末に ESMPRO/AC Advance がインストールされたサーバ、連動端末に ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされた端末を登録します。

(1) 制御端末1台、連動端末1台の場合





自動運転サーバ:連動端末

(2) 制御端末1台、連動端末2台の場合

🔒 AC Management Console	- ESMPRO/AC					
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 🗄	表示(ゾ) ヘルフ(円)					
📕 🛛 🚟 🗇 🥔 🖉	15 8					
🖃 🔣 network	名称	IP address	説明	状態	動作設定	起動用 Mac a
□ 📴 制御端末グループ	1 制御端末グル…	172.16.1.255				
┃	120RI-2	172.16.1.21	AC+ACAdva	マスタ動作中	Advance mode	00-1D-92-7E
	9 120RF-1	172.16.1.16	Advanceマル	通常運用中	Advance mode	00-13-D3-32
	9 120RF-1A	172.16.1.17	Advanceマル	通常運用中	Advance mode	00-13-D3-32
120RF-1						
	•					F
レディ						



ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション

(3) 制御端末2台、連動端末2台の場合

🔒 AC Management Console -	- ESMPRO/AC					
ファイル(E) 編集(E) 操作(S) 表	‱(⊻) ∿ルブ(出)					
🔲 🛛 🛲 🗇 🥔 🥔	15 💡					
⊡ <mark>}}} network</mark>	名称	IP address	説明	状態	動作設定	起動用 Ma
□ 🔐 制御端末グループ	📋 制御端末グル…	172.16.1.255				
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	120RI-2	172.16.1.21	AC+ACAdvan	マスタ動作中	Advance mode	00-1D-92-
	120RI-2A	172.16.1.22	AC+ACAdvan	通常運用中	Advance mode	00-1D-92-
	120RF-1	172.16.1.16	Advanceマル	通常運用中	Advance mode	00-13-D3-
■ 120RI-2	🗐 120RF-1A	172.16.1.17	Advanceマル	通常運用中	Advance mode	00-13-D3-
= 120RF-1A						
	1					
	•					Þ
ĺ/Ţ [°] ł					NUM	1 //.



自動運転サーバ:連動端末

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション

第5章 スケジュール運転の設定

5.1 制御端末のスケジュール設定

制御端末のスケジュール登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定 を行う必要があります。

以下を例に、スケジュール運転の設定方法を説明します。 ①月曜日から金曜日までは、23時00分にリブート。 ②土日祝は、運用しない。

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動

[スタート]メニュー →[プログラム] → [ESMPRO_AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC] を起動 してください。

🧱 ES 证证	6MPRO/Automa (1) 静定(0) A	aticRunningCor	ntroller		
			自動運転 :	停止開始) → UPS
	サー 加 す 、 加 、 加 、 加 、 和 重 転 、 入 監 監 監 に 入 助 二 、 監 監 監 に 初 い 、 の 初 に 入 い た い の い た い う い う い う い う い い う い し い う い し い う い い う い い う い い う い し い し い う い い い い い い っ つ て し た の の い し い の い つ い の い つ つ い	: 120 : 実 : な : 正 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	DRE72 行中 予運転(Vers	ion 4.10_a)	
	武徳 (1) 武	الات و کریں الات الات	ロート オフ*ション	<u>ハートウェア</u>	() () 配信データ
	ОК	[۷ ک	ቅ୬⊦ያ°ሳን(<u>D</u>)	^∳ን°(<u>H</u>)

(2) 「スケジュール」画面が表示されますので、画面内の "通常 09時00分から17時00分まで"(赤枠)を選択し「修正」ボタンを選択してください。



(3) 「スケジュール」画面に戻りますので、(2) で変更した時間が反映されているか確認を行います。 問題なければ、「設定」ボタンを選択して、"②土日祝は、運用しない。"の設定を行います。

一 設定」画面が表示されましたら「祭日休日指定」タブを選択します。赤枠内全てのチェックを有効にします。
 ②次に「曜日指定」タブを選択します。

同じく赤枠内のように、「複数曜日」と「日」、「土」、「運転休止」のチェックを有効にして「OK」ボタンを選択してください。

③「スケジュール」画面に戻りますので、「OK」ボタンを選択してください。

④青枠のようなメッセージ画面が表示されますので、全て「はい」または「OK」ボタンを選択してください。



- (4) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。
 - ①以下のような画面が表示されましたら、「切断要因」タブ内にある、"基本部"欄の「スケジュール」の チェックを有効にしてください。 その後「OK」ボタンを選択してください。 のイットナーン海运が実示されますので 「OK」ボタンを選択してくださ

(2)メッセージ画面が表示されますので、	「OK」ボタンを選択してください。
----------------------	-------------------

🚉 ESMPRO/Automatic RunningController	_ 🗆 🗙
運転(U) 設定(C) ヘルプ(H)	
步-n [*] (S) 自動運転 : (9止) 開始	UPS
サーN*名 : 120RE72 自動運転の状態 : 実行中 自動運転装置 : なし サービネの状態 : 正常運転(Version 4.10_a) 投入監視要因 : 切断監視時刻 : 切断監視時刻 : 奴切断監視時刻 : 投入時沙ション*記動 OFF 終了時沙ション*記動 : 0FF	
・ ・	())) 000- ≣7∑-9
OK <u>ችቅንቺቆ</u> ያቅምዮጵዮታን(<u>D</u>) ^ቆንኖ	<u>H)</u>
\mathbb{O}	
監視要因 ×	
■ ADV3ール ■ LAN LAN切断作情報(L)	
未実装 未実装	
スロット3 未実装 大国文化3 大国文 大国文 大国文 大国文 大国 大国文 大国 大国 大国 大国 大国 大国 大国 大国 大国 大国	
- Z0vh4	
未実装	
● OR条件 ● 条件式 キャンセルへルフ [*] (<u>H</u>)	
2	
ESMPRO/AutomaticRunningController	×
切断要因 スクジュール による切断条件が成立した場合、サーバは直ちにシャットダウンを行い。	ます。
<u> </u>	

(5) 以下のような画面に戻りましたら、「OK」ボタンを選択してください。

🧱 ES	SMPRO/AutomaticRunningController	
運転	(U) 設定(C) ヘルプ(H)	
	<u>サーn[*](S</u>) 自動運転 : 停止 開始	→UPS
	サーバ名 : 120RE72 自動運転の状態 : 実行中 自動運転装置 : なし サービネの状態 : 正常運転(Version 4.10_a) 投入監視要因 : 切断監視要因 : 切断監視時刻 : 切断監視時刻 : 投入時ション:起動 : OFF 終了時ション:起動 : OFF	
	 	配信データ
[OK ትャンセル シャットダドウン(<u>D</u>)	∿₽フ°(<u>H</u>)

以下のようなメッセージ画面が表示されます。

「OK」ボタンを選択すると、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI が終了します。 「キャンセル」ボタンを選択すると、切断監視要因、切断監視時刻、次回の切断監視時刻に、 スケジュール運転情報が表示されます。

	ESMPRO	/AutomaticRun	ningControll	er 🗙	
	(i)	自動運転情報(D設定が正常終	てしました。	
ESMPR	0/Automa	ntic RunningCor	ntroller		×
2	ESMPF よろしい	Ю/AutomaticRur ですか?	ningController;	にユーを終了し	します。
	(OK	キャンセル		

(6) 「スケジュール」ボタンを選択し、グラフィック表示やカレンダ表示にて正しくスケ ジュールが登録されていることをご確認ください。



5.2 連動端末のスケジュール設定

連動端末でスケジュール運転を行うための手順としては、制御端末上の ESMPRO/AC GUI にて連動端末へ接続し、直接 連動端末のスケジュール運転の設定を行う方法と、制御端末上で設定ファイルを作成し、そのファイルを Windows 連動端末 へ送信する二種類の方法があります。以下では、に手順を記載します。

以下を例に、スケジュール運転の設定方法を説明します。 ①月曜日から金曜日までは、8時00分に電源投入。17時00分に電源切断。 ②土日祝は、運用しない。

5.2.1 Windows 連動端末への直接設定

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動。

[スタート]メニュー →[プログラム] → [ESMPRO_AutomaticRunningController] →[AC Management Console] を起動してください。

起動すると以下のような画面が表示されますので、AC Management Consoleのツリー上で設定を行う対象となるサーバ(以下の画面の場合は、連動端末の 120RF-1)を選択し、右クリックメニューの[指定サーバの設定] を選択して、ESMPRO/AutomaticRunningController GUIを起動してください。



(2) スケジュールの設定は「5.1 制御端末のスケジュール設定(2)(3)」と同様の方法でスケジュール運転の設定 を行ってください。

- (3) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。
 - ①以下のような画面が表示されましたら、「投入要因」タブと「切断要因」タブ内にある、基本部"欄の「スケジュール」のチェックを有効にしてください。 その後「OK」ボタンを選択してください。
 - ② メッセージ画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。



(4) 以下のような画面に戻りましたら、「OK」ボタンを選択してください。

<mark>き。ESMPRO/AutomaticRun</mark> r 運転(山) 設定(C) ヘルプ(H)	ningController	
<u></u> #-ກ°(<u>S</u>)	自動運転 : 停止 開始	→UPS
 サーバ名 自動運転の状態 自動運転装置 サービスの状態 投入監視要因 切断監視時刻 切断監視時刻 次回の切断監視時刻 投入時刻 投入時刻・31、記動 終了時刻・31、記動 	: 120RF-1 : 実行中 : マルチサーバオフ°ション(リモート制御) : 正常運転(Version 4.03_m) : OFF : OFF	
ごろう 1 監視要因 スケジ・ニ		
ОК	キャンセル シャットダ・ウン(D)	^⊮フ°(<u>H</u>)

以下のような画面が表示されます。

「OK」ボタンを選択すると、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI が終了します。 「キャンセル」ボタンを選択すると、投入監視要因、切断監視要因、投入監視時刻、 切断監視時刻、次回の切断監視時刻に、スケジュール運転情報が表示されます。

	ESMPRO/	/AutomaticRunningController 💦 🚺	
	i	自動運転情報の設定が正常終了しました。	
		OK.	
FOMDO			
ESMPR	O/Automa	aticRunningController	×
	O /Autom a ESMPF よろしい	a tic RunningController RO/Automatic RunningControllerメニューを終 いですか?	× アします。

(5) 「スケジュール」ボタンを選択し、グラフィック表示やカレンダ表示にて正しくスケジュールが登録されていることをご確認ください。



5.2.2 Windows 連動端末へ設定ファイルを送信

(1) [マルチサーパ構成データ編集]の起動。

[スタート]メニュー→[プログラム] → [ESMPRO_ACL Client] → [マルチサーハ構成データ編集] を起動してくだ さい。

(2) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI の起動。
 [マルチサーハ構成データ編集]→[ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動] を選択して、
 ESMPRO/AutomaticRunningController GUIを起動してください。

:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDE 編集モードで起動	R	▼ 参照
AC Management Console簡易話	定支援ツール の起動	ħ
AC Management Con:	sole の起動	
ESMPRO/AutomaticRunningCom	atroller GUI の起動	
編集データファイルの送信/受信	<u>^⊮フ°(H</u>)	運転(U) 設定(C) ヘルプ(U) f = n ² (S) 自動運転: 停止 開始 → UPS 属集モードで動作しています。 [現在の編集 ファイル名] C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥APCUINFO.CFG C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥COMFIG.CFG C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥SCHEBASE.CFG C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥SCHEDULE.CFG C:¥Program Files¥ESMACLX C:¥Program Files¥ESMACLX C:¥Program Files¥ESMACLX C:¥Program Files¥ESMACLX C:¥Program Files¥ESMACLX C:¥Program Files¥ESMACLX C:¥Program Fil
		C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥UPJOB.CFG C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥DOWNJOB.CFG C:¥Program Files¥ESMACLCL¥DATAFOLDER¥DOWNJOB2.CFG E:#Rygon 7.79°.2~0 00000000000000000000000000000000000

(3) スケジュールの設定/監視要因の設定の反映

「5.2.1 Windows連動端末への直接設定(2)(3)(4)」と同様の方法でスケジュール運転の設定を行ってください。 Windows連動端末へ設定ファイルを送信。

設定ファイルの更新が完了したら、以下の操作で設定ファイルをWindows連動端末へ送信することが可能です。

- データファイルの格納フォルダを指定し、「編集データファイルの送信/受信」を選択してください。
 格納フォルダは、サーバ単位/グループ単位など、再度編集する際に管理しやすいよう任意に作成してください。
- ② [Windowsサーバ] を選択し、「OK」ボタンを選択してください。
- ③ 「データファイルの送信」を選択し、必要なファイルのチェックを有効にして、 「ファイル転送-Windowsサーバ」ボタンを選択してください。
- ④ 操作の実行確認で「はい」を選択してください。
- ⑤ [サーノ名] に設定ファイルを送信したいサーバのコンピュータ名を入力し、「OK」ボタンを選択してください。





(4) サービスの再起動

連動端末のOSのサービス画面からESMPRO/ARCサービス (ESMPRO/ARC Service)を再起動してください。

(5) Windows連動端末へ送信した設定ファイルの確認方法

「 5.2.1 Windows 連動端末への直接設定 (1)」の手順どおり連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を起動し、「スケジュール」ボタンを押して設定内容が正しく反映 されているかをご確認ください。

<参考>

サーバから設定ファイルのコピー

すでに制御端末または Windows 連動端末のスケジュール運転の設定を行っている場合、以下の操作 で設定ファイルを受信し、Windows 連動端末への設定のベースとして利用することが可能です。

- データファイルの格納フォルダを指定し、「編集データファイルの送信/受信」を選択してください。
- ② [Windows サーバ]を選択し、「OK」ボタンを選択してください。
- ③ 「データファイルの受信」を選択し、必要なファイルのチェックを有効にして、 「Windows サーバー>ファイル受信」ボタンを選択してください。
- ④ 操作の実行確認で「はい」選択してください。
- ⑤ [サーバ名] にスケジュール運転の設定を行ったサーバのコンピュータ名を入力し、「OK」ボ タンを選択してください。



第6章 障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

- ・ESMPRO/AutomaticRunningController ログ
- ・イベントログ
- ・バージョン情報

(以上の採取方法につきましては、「ESMPRO/AutomaticRunningController セットアッ プカード」をご参照ください。)

6.1 マルチサーバ構成でのログ採取方法



システムの構成が、マルチサーバ構成の場合、次のような方法でログを採取してください。

例えば、上図のようなマルチサーバ構成の場合、

(1) 制御端末

すべての制御端末(この例の場合、制御端末A、制御端末Bの両方)で ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照して必要なログを採取してください。また、その他に下記ログの採取もお願いいたします。

(2) 連動端末 (Windows サーバ)

制 御 端 末 お よ び 、 管 理 GUI の イ ン ス ト ー ル さ れ て い る コ ン ピ ュ ー タ の ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を使用し、下記手順で、連動端末A、B、Cそれぞれのロ グを採取してください。

例えば、制御端末Aから連動端末Aのログを採取する場合

①制御端末の ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、 以下のサーバ指定ダイアログが表示されます。

サー	-パ指定	×
	サーバ名	•
	□ 停止中の指定サーバを、リモート起調	前する
	OK +77/211 ^11	ל°(<u>H</u>)

②サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、連動端末Aのサーバ名を入力し、OK ボタンを選択して、連動端末Aに接続します。

例えば、連動端末のサーバ名が、「110RH-1」の場合、上記サーバ指定で 110RH-1

と入力します。接続しましたら下記のように表示されます。

ESMPRO/AutomaticRunningController 運転(U) 設定(C) ヘルプ(H)	
サーハ*(S) 自動運転 : 停止 開始 → UPS	
サーN*名 110RH-1 自動運転の状態 実行中 自動運転装置 マルチサーN*オフ°ション(リモート制御) サービ*スの状態 正常運転(Version 4.03_m) 投入監視要因 1 切断監視要因 1 投入監視時刻 1 投入監視時刻 1 投入監視時刻 1 均断監視時刻 1 按工 0FF 終了時シ*ョ7*起動 0FF 終了時シ*ョ7*起動 0FF	連動端末サーノ名
ごの <	*2)) 2
OK キャンセル ジャットダ ウン(D) ヘルフ°(H)	

③もう一度、サーバボタンを選択し、サーバ指定ダイアログを表示させます。サーバ指定ダイアロ グのサーバ名のところに、

ESM/PC MAINTE

と入力し、「OK」ボタンを選択します。

サーバ指定				×
th-	·))"名 [E	SM/PC MAINTE		
	, 停止中7	n指完サーバを	リエート記動す	z
		211 AL 1 1 1 2 1		<u> </u>

④「ログセーブ開始」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。

געללדע 	×
ログ情報採取	ロク [*] セーフ [*] 開始(<u>S</u>)
OK	<u> 年中ンセル</u>

ログ採取が終了すると、以下のダイアログが表示されます。

ログ採取正常終了メッセージ

ESMPRO/AutomaticRunningController	×				
すべてのログ情報を H¥LOG ディレクトリに セーブしました。					
(ŎK					

ログ採取正常終了のメッセージです。⑤の作業を実行してください。

ログ採取異常終了メッセージ

ESMPRO/	AutomaticRunningController	×
8	H¥LOG ディレクトリにログ情報ファイルが存在しています。すべてのログ情報ファイ ルを待避してから再度実行して下さい。	
	<u> </u>	

上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられ ます。ログ採取に失敗した連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController インストール ディレクトリ下の DATA¥LOG 下にログファイルが存在する場合は、ファイルを退避するか削 除して、操作をやり直してください。 ⑤制御端末のエクスプローラを実行して、ログ情報を採取してください。

👔 H:¥						
G 🕞 🚽 🕈 ARCDATA (¥¥110RI	H-1) (H:) 🗸	▼ 🛃 検索		<u> 2</u>		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール	(1) ヘルプ(日)					
🐚 整理 🔻 🟢 表示 🔻 🔮 書き	<u>ර</u> ත			0		
お気に入りリンク		更新日時 ▼	_種類▼	<u> サイズ 🖣 🔺</u>		
F Ktorth	BAKDATA	2008/08/01 17:15	ファイル フォルタ			
		2008/08/05 11:13	ファイル フォルタ			
		2006/06/00 11:22	ファイル フォルターテモフト ドセッシート	1 40		
■ ミュージック		2008/08/04 18:31	ノイスト トイエメノト APC ファイル	1 KB		
言羊糸田 ×	ac_e_net.apc	2000/00/00 11:07	構成設定	1 KB		
	ac e net danc	2008/08/05 11:07	APC ファイル	1 KB		
フォルダ 💙	ac wts10G	2008/08/05 11:04	テキスト ドキュメント	133 KB		
🖃 🚢 ローカル ディスク(C:) 🛛 📃	ACELOCK.DAT	2008/08/01 18:37	DAT ファイル	0 KB		
🕀 🏭 DVD/CD-RW ドライブ (D:)	ACGUILOG	2008/08/05 11:22	テキストドキュメント	33 KB		
🕀 👝 ローカル ディスク (E:) 🛛 🔤	acslave.lic	2008/08/05 11:07	LIC ファイル	1 KB		
田 <u>一 ボリューム (G)</u>	APCUINF2.DAT	2008/08/05 11:04	DAT ファイル	1 KB		
	APCUINFO.DAT	2008/08/05 11:04	DAT ファイル	1 KB		
🕌 BAKDATA 🛁	armconf.apc	2008/08/04 16:12	APC ファイル	1 KB		
E LOG	CLIENTD.APC	2008/08/04 16:12	APC ファイル	1 KB		
	CLLM.WRK	2008/08/04 15:16	WRK ファイル	1 KB 🚽		
26 個の項目(空キギッフカ領域 564 CD)	<i>t</i> :	0000 /00 /05 11.10		<u> 1 KD</u>		
30 個が項目(主さ)1入9項級: 304 GB		J	j₩12%=4%r			
ESMPRU/AC GUI で 110KH-1 に接続している EDG フォルタ下に必要な情報が採取されます						
「同は、IIUKH-I の AKULAIA をイットワーク」 ので、LUG フォルタこと FD 等の媒体に採取						
トフィノとして接続しています。 してください。						

- ※LOG フォルダ下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態によって異なります。 (スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ロ グファイルのサイズが大きくなります。)
- Readme: サービスおよび GUI の動作不良のため、上記操作でのログ採取できない場合は、以下の 方法で採取をお願いいたします。
 - ①エクスプローラ等を使用してください。
 - ②連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥data ディレクトリ下のす べてのファイルを採取してください。
 - ※ネットワークが不調な場合などは、連動端末のエクスプローラを使用して直接採取する こともできます。

第7章 注意事項

7.1 セットアップ関連

ESMPRO/AutomaticRunningController と ESMPRO/AC Advance をインストールする場合、インストールするソフトウェアのバージョンは必ず両方とも「Ver4.1」の製品をインストールしてください。

7.2 運用時における注意

・ ESMPRO/AC Advance をインストールした環境でスケジュール運転を行う場合、制御端 末自身へは電源 ON 制御が必要となる停止期間を持つスケジュール設定(電源 OFF から ON までの間隔が2分間以上空いている設定)は行わないでください。

これは、制御端末が自サーバの ON 制御を行うことができないためです。ただし、電 源 ON 制御が必要でないリブートを行うスケジュール設定(電源 OFF から ON までの時間 が 1 分間に設定)は可能です。制御端末のリブートに掛かる時間中は連動端末に対する 電源制御が行えませんので、制御端末のリブート時刻と連動端末の ON/OFF 時刻が重複 しないように設定してください。

その他の連動端末に対しては各サーバで独立したスケジュールで運用可能です。

• AC Advance 製品では、サーバに備わっている物理的な MAC Address に対して Wake On LAN を送信することにより、サーバの起動を行います。

このため、AFT(アダプタ・フォールト・トレラント)のチーミング設定などのネット ワーク冗長構成を行ったネットワークデバイスに、ユニークな MAC Address を割り当て た運用を行うシステムに対しては、Wake On LAN 運用ができません。

チーミングを構成する、いずれか1つの物理的な MAC Address をチーミングしたネットワークデバイスの MAC Address として設定、運用してください。

<設定例>

